



2月園だより

令和7年1月24日発行 ピッコロ保育園
第66号



近頃は乳幼児期の発達が将来にわたる人格形成の基礎として大きな影響を与えることが広く一般社会に認識されてきていると実感します。この時期に獲得されることが望まれる非認知能力(自尊心、自制心、自主性、自律性など)が「心の土台」となり柔軟に環境の変化に対応できる人を作ります。非認知能力は実体験を伴った内面の成長により獲得され、体験の質も本人の好奇心や自主性により大きく変わってきます。子どもの闊達な活動は保護者や周りの大人など人的環境の中で育まれた愛着形成(アタッチメント)が基礎にあります。一緒にいろいろな体験をしたり、会話をしたり、本気で遊んだりする中でアタッチメントが育まれ、子どもが安心して自分を発揮できるような環境を作っていただければとおもいます。

大人が主体の「子育て」よりも、子どもが主体の「子育て」のサポートをしてる…ぐらいの気持ちで、肩の力をぬきながらも真剣に子どもの人格と向き合い愛情を注ぐことがアタッチメントには大切かと思えます。子どもが「毎日楽しい。明日はなにをしよう」と心豊かに思えることが増えることを心より願っております。

学校法人小檜山学園 認定こども園三沢第一幼稚園 園長 沼尾大伸

